

## マーケットの動き（2022年5月23日～5月27日）

先週の為替市場は、米ドルは対円で下落（円高）しました。

週初は、米国による対中関税の引き下げ検討を背景に米ドルは上昇しました。米ドル買いの一巡後は、米国金利の低下などを受け下落に転じたものの、127円台に戻して週を終えました。

ユーロは、対円・対米ドルともに上昇しました。

## 投資環境見通し（2022年5月）

## 円に対して、米ドル、ユーロともに方向感に欠ける展開

**米ドル：**米国におけるインフレの動向とFRB（米国連邦準備制度理事会）による今後の利上げペースが注目される中、日銀は緩和的な金融政策を継続する姿勢を示しており、円安圧力の強い状況は続くとも見られます。日米金利差のさらなる拡大は限定的とみており、米ドルは円に対して、当面はレンジ内での動きになるとみえています。

**ユーロ：**ECB（欧州中央銀行）による利上げ開始を含めた金融政策正常化の動きが注目されています。ECBの金融政策見通しに対して神経質な動きの中、ユーロは円に対して当面はレンジ内での動きになるとみえています。なお、ウクライナ情勢を巡る先行き不透明感が重しになるとみられます。

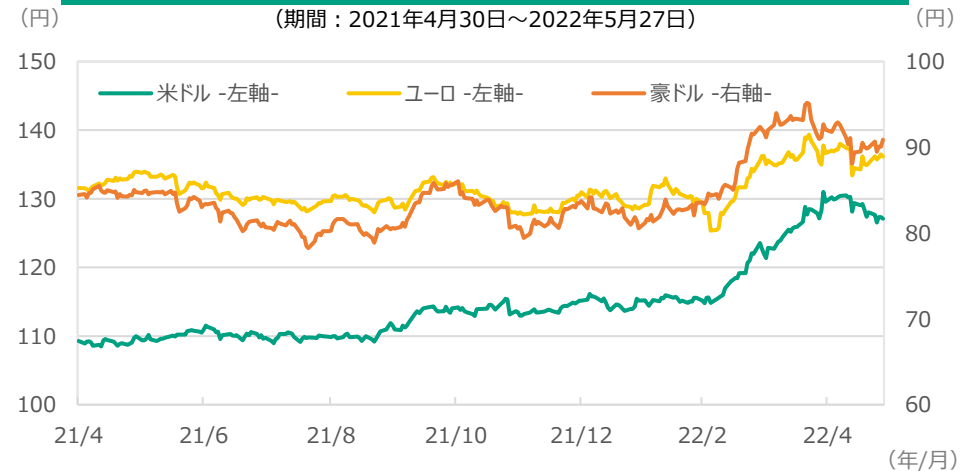
	5月27日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	127.13	▲0.89	▲1.20	13.98	17.40
ユーロ/円	136.15	0.99	1.19	8.12	2.26

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

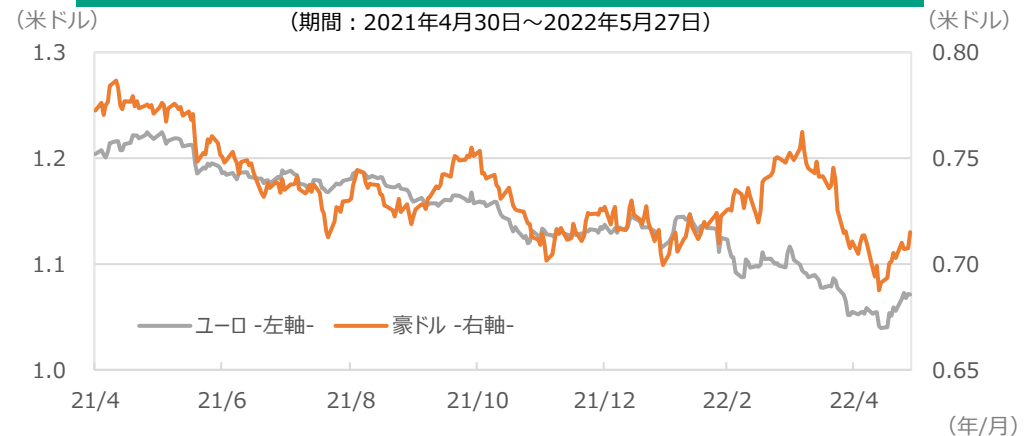
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202205\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202205_outlook.pdf)

## 為替レートの推移（対日本円）



## 為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>